

3 自動運転レベル：SAEによる分類と定義 (2014年版)

SAE (Society of Automotive Engineers) は、2014年にJ3016を公表しました。そのなかで定義された5段階の自動運転レベル (levels of driving automation) を表2に示します。では、自動運転のそれぞれのレベルについて、解説と考察を行ってみましょう。

表2 自動運転レベル (SAE 2014)

走行環境を監視するのはドライバー		
1	Driver Assistance	システムは横方向又は縦方向の車両運動制御のいずれか一方を担当。ドライバーはシステムが担当しない動的運転タスクを担当。
2	Partial Automation	システムは横方向及び縦方向の車両運動制御の両方を担当。ドライバーはシステムが担当しない動的運転タスクを担当。
走行環境を監視するのはシステム		
3	Conditional Automation	システムが動的運転タスクのすべてを担当。システムがドライバーに制御の交代を求めたいときは、十分な時間余裕をもってドライバーに要請。ドライバーはその要請に適切に対応する必要あり。
4	High Automation	システムが動的運転タスクのすべてを担当。システムからの制御交代要請にドライバーが対応しないときは、システムが車両制御を継続。
5	Full Automation	ドライバーが対応可能なすべての道路条件／走行環境条件のもとで、システムが動的運転タスクのすべてを担当。

(原典) SAE (2014). Taxonomy and definitions for terms related to on-ground motor vehicle automated driving systems. J3016.